

議会だより



No. 94

平成25年10月31日
発行 大分県日出町議会
電話 0977-73-3135

題字は川崎小6年 すぎもと 杉本 りさ 里咲 さんです



仲良し5人組 ちょ～楽しい (若宮八幡 秋季大祭)

目次

9月定例会

- 予算常任委員会 2
決算特別委員会・予算常任委員会・臨時会
- 副町長・教育委員選任／先進地に学ぶ 5
行政視察研修
- 常任委員会 6
総務委員会・産業建設委員会・社会厚生委員会
- 一般質問 8
6人が町政全般を質す
- 町民の声 14



議員が編集した
手づくり議会だよりです

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

平成25年

9月定例会

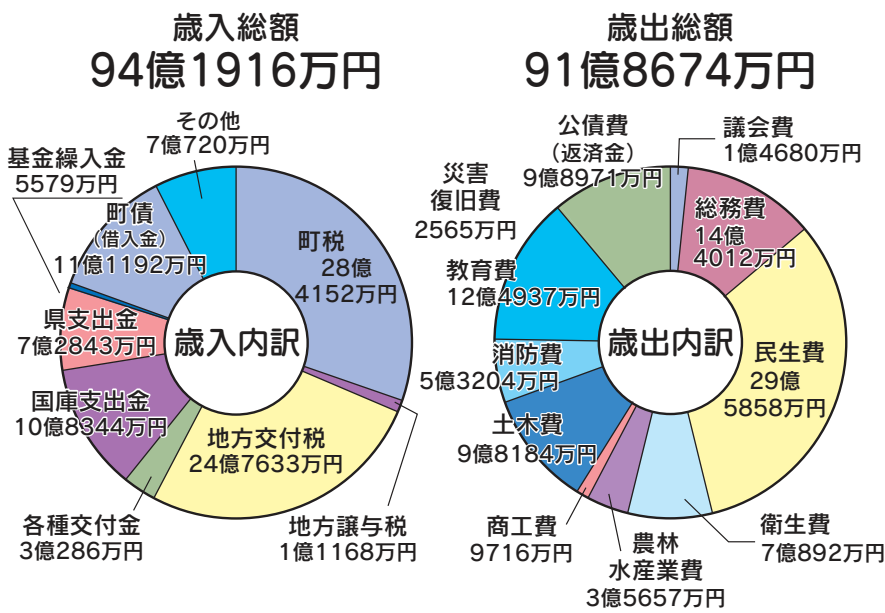
9月定例会は、9月5日から27日までの会期で開催されました。初日の本会議では、町長から行政報告のあと、議案に対する提案理由の説明が行われ、補正予算や条例改正など議案13件、24年度決算認定2件、副町長・教育委員の選任に関する同意2件など23日間にわたり審議しました。

審査の結果、補正予算は賛成多数で可決。その他の議案は全会一致で可決となりました。請願は2件、このうち1件を採択し（1件は不採択）国に対して意見書を提出、陳情1件を採択しました。

また、藤原地区のメガソーラー建設に反対する決議を行い、陽谷駅周辺整備を審議する特別委員会の設置を全員で可決しました。

一般質問は6人が登壇し、町政についてそれぞれが当局の所信を質しました。

一般会計決算内訳



基金（町の預金）の状況

	23年度末現在高	24年度末現在高
財政調整基金	10億4843万円	11億1877万円
減債基金	4億8666万円	5億5695万円
特定目的の基金	5億122万円	5億3189万円
合計	20億3631万円	22億761万円

町債（町の借金）の状況

	23年度末現在高	24年度末現在高
一般会計	92億2195万円	94億8553万円
特別会計	52億4256万円	50億7965万円

特別会計歳出決算

	23年度	24年度
国民健康保険	30億7094万円	30億137万円
簡易水道	1034万円	1077万円
公共下水道事業	7億8965万円	9億7925万円
漁・農業集落排水事業	7706万円	7381万円
介護保険	23億3461万円	23億3702万円
後期高齢者医療	2億7096万円	2億7038万円

歳入は、1億3326万円（前年対比）の増加。デフレ状況のなか、町税は年少扶養控除の廃止や企業の業績回復により前年度を超える増収を確保でき、また、地方債の増加もあつて、基金（町の預

金）の取り崩しが最小限となりました。歳出は、1億3240万円（前年対比）の増加。学校施設の耐震化工事や街並み環境整備に取り組んだ結果、普通建設事業費が2億

円の増加となっています。また、基金は総額で2億円増加していますが、地方債（町の借金）は建設事業の増加により、2億円を超える大幅な増加となりました。

建設事業費が前年比2億円増（24年度決算）

監査委員

決算総括

景気状況は、これまでの長期低迷からわずかな回復基調がうかがえるが、国内需要や海外経済情勢を考えると、今後も景気、雇用状況は依然として厳しい。日出町においても町税の伸び悩み、地方交付税の減少により厳しい財政状況が続くものと懸念される。

25年度以降も公共施設の耐震化や陽谷駅周辺整備事業などの大型事業を控え、町債残高は増加することが予想される。また、少子高齢化・環境問題など直面する課題も多いことから、今後とも財源の見直し、町税などの徴収率向上を図り、収入の確保に努めるとともに、効率的・効果的な施策を推進し、将来世代にツケを回さないようプライマリーバランスを考慮して健全な財政運営を求めるものである。

一般会計補正予算 〔予算委員会〕

定住人口の増加策として空き家活用報奨金、農漁業者の負担軽減のための燃油高騰対策事業費、高校跡地を有効活用するための造成など関連事業費、自治公民館の新築補助費、日出駅周辺での犯罪抑止のための防犯カメラ設置費、全国女性消防操法大会の出場経費など、2億2773万円を増額補正し、歳入歳出とも予算の総額は93億4181万円となります。



基本設計が始まる陽谷駅

陽谷駅改修に伴う 設計費用で賛否

採決の結果

11 対 4 で可決

土田 亮治	池田 淳子	工藤 健次	藤井 博幸	安部 三郎	田原 忠一	森 昭人	後藤 佑	白水 昭義	佐藤 二郎	城 美津夫	賛成者	佐藤 隆信	熊谷 健作	佐藤 克幸	反対者	笠置 久夫
-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	-------	-----	-------

反対討論

佐藤 隆信 議員

23年9月議会で、南北自由通路は設計費も含めて2億4千万円、駅周辺整備事業の総額は5億7千万円と説明していた。ところが、今補正で通路設計委託料が1200万円の増額、事業費はJRとの今後の協議次第で、いくらかかるか分からないという説明である。予算の上限も決めず、全体事業の総額が分からないような今回の設計費増額補正は反対である。

賛成討論

森 昭人 議員

陽谷駅は、乗降客の増加に伴い、多様な利用者のニーズに応える必要が生じ、また列車到着時の踏み切り遮断機のくぐり抜けや送迎車の路上停車、ホームやトイレのバリアフリー化など、利便性や安全の確保が課題となっていました。これらの課題を解消し今後の日出町の発展、にぎわいのある町にするために今補正予算を認め、計画通り事業を進めるべきと考えます。

自由通路の事業費は、23年9月議会で2億4千万円と説明していたが、今回の一般質問で3億5千万円はかかることが分かった。23年当時は16年に総務省へ提出する参考概算費用でしか説明できなかったとしているが、工事費も今回のJRへの委託設計（補正額1200万円）が出来上がらないと確定せず、今後増額の可能性もあるため、賛否が割れた議論となった。

メガソーラー建設反対決議

決議とは、議会が行う意思形成の行為で、議会の意思を対外的に表明するために行われる議会の議決です。

メガソーラー反対

藤原西部地区に計画されているメガソーラーは、開発面積が27ha、発電出力16メガワット、山の斜面を利用して建設する大規模なものである。この広大な計画斜面が伐採され裸地になれば、本来浸透していた大量の雨水が流出することになり、藤原西部地区の排水路を通り、金井田川に流れ込むことになる。事業者が排水対策を施したとしても、近年の異常気象がもたらすゲリラ豪雨も危惧されることから、水害や土砂災害といった関係者の不安を払拭できるものではない。よって、町民の安心・安全な暮らしを守るため、議会として、太陽光発電事業（仮称）メガソーラーパーク日出」建設に反対することを全会一致で決議する。

道州制反対

現在、与野党において、道州制導入の法案提出を含め、議論が活発化している。「道州」への移行はもとより「基礎自治体」への移行は、事実上の大合併であり、再編されれば、現在の市町村に比べ、住民と行政の距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうこと



メガソーラー建設予定地（藤原）

とは明らかである。よって議会として、「道州制導入に反対」の意見書を国に提出する。

良好適切な歯科医療

大分県保険医協会から提出の請願を採択。歯科診療における窓口負担割合の軽減と保険給付範囲の拡大、また歯科医療の総合的な発展のための診療報酬の改善は国民の強い願いである。よって議会として、「保険でよい歯科医療の実現を求める」意見書を国に提出する。

パークゴルフ場建設の陳情

日出町パークゴルフ協会提出の「日出町パークゴルフ場設置に関する陳情」を採択。

陳情主旨

パークゴルフは3世代が一緒に楽しむ、運動不足の解消や健康増進の効果がある。誰でももつと気軽に利用でき、楽しむように、公営パークゴルフ場の設置をお願いする。

TPP撤退を求める請願

7対8で不採択

賛成者		反対者	
佐藤 克幸	熊合 健作	佐藤 隆信	白 水 昭義
後藤 佑	藤井 博幸	土田 亮治	
笠置 久夫	城 美津夫	池田 淳子	
安部 三郎	森 昭人		
田原 忠一			

大分県農民運動連合会から提出の「TPP交渉参加から撤退を求める請願」は産業建設委員会では採択であったが、本会議で賛成7人、反対8人で不採択となり、意見書の提出は見送られた。

陽谷駅周辺整備対策特別委員会設置

陽谷駅の改修と高校跡地グラウンド部分を含めた駅周辺整備の事前協議は最終段階を迎える。また、多額の建設費用を要することから、今後さらに踏み込んだ集中した審議が必要であると考え、特別委員会を設置する。

副町長、教育委員 の選任に同意



副町長
今宮 禮二氏
(藤原)

4月から欠員となっていた副町長に今宮氏を選任。今宮氏は、昭和49年に町職員に採用され、商工観光課長、企画財政課長、監査委員事務局長を歴任し、平成16年に助役、19年4月から22年7月まで副町長。現在に至る。



教育委員
西野 智行氏
(豊岡)

石尾潤治氏の任期満了に伴い、後任に西野氏を選任。西野氏は、昭和56年県に入庁、福岡事務所長、政策企画課長、商工労働企画課長を歴任し、平成25年3月に東京事務所長を最後に退職。5月から日出町参事。現在に至る。

研修視察

「釜石の奇跡」に学ぶ

社会厚生常任委員会

日時 25年7月24日～26日

研修先

岩手県釜石市・盛岡市

研修目的 防災教育

防災の知識や災害への意識が高まる中、東日本大震災で津波被害を受けたものの、99.8%の児童生徒の命を守ることのできた防災教育を研修しました。

学校給食基本方針

調理施設の老朽化による建て替えや食に関する指導など、児童生徒の心身の健全な発達のための基本方針を策定し、安定した学校給食のための運営方法のあり方や業務の効率化を図るため研修しました。

研修内容

釜石市

10年以内に99%の確率で起こるといわれていた宮城県沖地震とそれが引き起こす津波から命を守るために、群馬大学の片田教授による防災教育

に取り組むことになりました。子どもたちだけでなく、保護者や地域の方たち、市の防災課と連携し、登下校時など様々な想定で避難訓練を行った結果、多くの命を守ることができました。



大津波が鉄橋まで到達（釜石市）

盛岡市

人口減少に伴い少子高齢化が進むことが予想される中で、老朽化した給食センターの改修や建て替えが必要な反面、厳しい財政状況など多くの課題があるようです。こうした状況を踏まえ、4つの方向性に基づき、教育委員会において基本方針案を作成し、その案に対しての意見を募集し検討しているところです。人口、小中学校数の規模は日出町より大きいのですが、建て替えに係る費用の捻出の苦悩など、問題点には多くの共通点がありました。保護者や住民の方たちから広く意見を募ることが必要です。

まとめ

日出町では、センター方式で食数も少なく、運営方法は限られるが、給食費の未納等の問題も考慮すると、選択制（弁当の持参か、町の給食を自由に選択できる）方式も考えられるのではないのでしょうか。

まとめ

どんな災害が起こっても、自分の命は自分で守ることができるよう、防災教育は早急に行うべきと感じました。

常任委員会

総務

議案の審査結果

条例の制定

下水道料延滞金の割合などの見直しに伴い、公共下水道条例等の関係条例の整備に関する条例を新たに制定したものです。

閉会中の審査

8月2日開催

ふれあいセンターの運営

継続審査をしていますが、現状では住民が望む運営が充分でないので、耐震化、地区公民館、防災拠点などの課題から関係課と協議をして担当課の見直しなどを要望しました。



運営が課題のふれあいセンター

コミュニティバスの本格運行

利便性を図るため一部の地域で見直しを実施、路線図と時刻表を作成、10月1日から本格運行を行います。

テキサスの閉鎖に伴う備品の譲受

事務机やいすなどの備品を無償で譲り受けたので、庁舎の事務机などと入れ替えを行います。

深見邸の無償譲渡

横浜市の深見雅也氏他1名から、二の丸館に隣接の土地建物の無償譲渡の申込があり契約書などを作成し、譲り受けの準備を進めています。

定住促進と空き家の利活用

空き家バンク制度を介して、町外在住の利用登録と空き家登録者が売買または賃貸契約を結び利用者が転入した場合、報奨金10万円を交付する制度です。

産業建設

議案の審査結果

浄化センターの長寿命化

日本下水道事業団と公共下水道浄化センター1系列の耐震・長寿命化の工事を20億404万円で工事委託協定を結ぶものです。

シルバー人材センター法人化へ

会員数、売上等要件が整ったの



第1系列を視察（浄化センター）

で、手続きを進めます。なお、作業の仕上がりにはらつきがあり、指導をするよう申し入れました。

獣害対策

農道の整備地区が優先で、真那井、八代地区は26、27年度で実施予定です。

町のおいしい水アピール

出水の原水をペットボトルに詰め、ウォーキング大会や断水対策、避難訓練などで使用し、おいしい水を宣伝します。

自由通路に疑問続出

暘谷駅自由通路建設費が2年前の答弁より1億円以上増加、さらに駅ホームの改良費などが今の時点で全く分らない。また、完成後の利用者数やランニングコストも不明。障がい者団体の方から一駅に多くの予算をかけるより、各駅にスロープかりフトをつけてほしいという要望に納得できる回答はありませんでした。

高校跡地グラウンド部分埋め立て

埋め立てし、かさあげすることで利用価値が増し、商業施設の誘致をしようとしています。「高校跡地活用事業提案審査委員会」を開き、意見を聞きながら整備を進めます。

町長に異例の申し入れ

この区画は、町中心部の中でも最後の一等地であり、今後の町の発展を左右するといっても過言ではなく、一度白紙に戻し、PFI方式などによる民間のアイデアや投資を活かして、町民が望んでいる

る複合公共施設の建設をお願いしたいと町長へ申し入れました。

閉会中の審査

7月2日開催

水道水源保護条例を全員協議会で説明

改正案を作成、検察庁へ確認のため送付の後、町長、全議員、関係各課長へ条例の説明をし、意見を聞きました。

社会厚生

議案の審査結果

労務単価変更の特例措置

公共工事設計労務単価が24年度より25年度の方が高いことから、特例措置により25年度の単価に基づく請負金額に変更できるものです。大神小・中学校、藤原小学校の耐震補強工事がこれに該当します。

学力向上ステップアップ講座

夏季休業中、主に小学校4・5

年生を対象に、児童の個々のつまづきを早期に解消するため、本年も開催しました。参加者数は年々増えていますが、学習ボランティアの数が学校によってバラツキがありました。

保育料・給食費の未納

納付の方法が口座振替になってから、収納率が著しく低下しています。給食費は、材料費に充当するため、収納率が低下することで給食の質の安定ができないのではないかと懸念されます。

閉会中の審査

7月18日開催

致道館の改修工事

26年度中の完成を目指し、工事は順調に進んでいます。完成後は、藩校という歴史的性質を活かし、学習機会の提供やイベントの開催など、町民一般に積極的な施設活用を図ります。

給食センター民営化へ

調理部門と配送部門が民営化となりました。献立の作成はこれまでどおり、給食センターの栄養士が行います。



一部民営に移行した給食センター

とよおか児童クラブ開所

夏休み初日となる7月20日に開所を行いました。利用申込みは、今のところ21人です。

戸籍データ管理システムの構築

大災害の発生により、戸籍の正本と副本の同時滅失を防止するため、戸籍副本管理サーバーを遠隔地にある法務局に設置します。正本は日出町、副本は北海道に設置します。

一般質問



町内各地に増設中のメガソーラー

問 自然エネルギーが注目され町でも太陽光発電が多く設置されています。設置に対して住民との間で問題も起きていますが、藤原西部地区のメガソーラー設置計画の状況はどうなっていますか。



佐藤 隆信 議員
(大神地区)

問 太陽光発電（メガソーラー）の設置基準を

答 現在検討中です

政策推進課長

現在、事業所が現地調査と施設の設計をしており、地元住民への説明や関係機関との協議を行っています。

問 これまで設置して事故が起きた施設はありますか。

都市建設課長

藤原一北のメガソーラー建設時には、昨年豪雨による土砂の流出があり、今年6月には町道側溝があふれる事態が起っています。ソーラーが100%原因か現在調査中です。

問 藤原西部地区住民は豪雨による災害が起きる地域なので設置に反対していますが、住民

の要望を取り上げ、業者に対して設置中止を申し込むべきではありませんか。

町長

それぞれの立場があるので十分事情を調べた上で、双方の意向を聞きながら対処していかねばならないと思っています。

問

現在、法的に危険な地域でも設置反対が言えない状況なので、町が設置基準を設けるべきではありませんか。

町長

まずは、業者と地元が専門家を交えて話し合っべき問題であると思っています。

住宅リフォーム制度の設置を

問

全国の多くの市町村でこの制度ができています。この制度は、地域のお金を動かす循環的な事業として最も有効な事業です。実施している別府市、杵築市の利用状況は。

都市建設課長

別府市は「BEPPUわくわく建設券」という制度

で、対象工事費の補助率10%、上限200万円で利用率30%、杵築市は補助率25%、上限30万円で、25年度1千万円を計上し、利用率100%ということでした。

問

小さな予算で地元業者の仕事や建築資材店にも効果が普及し、大きなお金が動くこの制度を作るべきと考えるが。

町長

今補正予算で、空き家対策として、貸す借る側の双方に10万円で6件120万円計上しています。日出町定住を多くの人たちに選択してもらうために、そういう助成制度が必要であり、今後とも考えていきたいと思っています。

※その他、「要支援1」の町単独支援で財政負担は「の質問がありました。

質問を終えて

町長は、住民の要求に応えるように。



熊谷 健作 議員
(豊岡地区)

問 高齢者が安心して医療や介護を受けられるためには

答 地域包括ケアシステムの構築が必要です

強く勧奨していきます。

介護保険制度のより一層の充実を

問

介護サービスを実施するにあたり、目標を定めているはありますが、その達成度のチェックは。

健康増進課長

要介護認定者は各事業所で評価していて、こちらではつかんでいません。介護予防サービスは未達成の方がほとんどです。

問

地域ケア会議の開催の予定は。実施に向けて研修はしていますか。

健康増進課長

10月から月2回開催します。学習会は昨年度から行っ

ています。

問

地域支援事業の中で、引きこもりやうつ、認知症予防が実施されていないのはなぜですか。また、介護費が割安な日常生活支援総合事業の実施は。

健康増進課長

両事業とも実施されていません。今後の課題です。

問

デイサービスを卒業した方の受け皿づくりは。

福祉対策課長

各区の地域が主体となって行うようお願いしています。

問

各事業所の経営者との信頼関係の構築は。

健康増進課長

ケア会議の開催にあたり、経営者の方へ会って協力を求めっていきます。

利用者の側に立った施設運営を

問

県内で図書館の日曜休館は1市だけ、トレーニングルームの日・祝日の5時間閉館は1市だけです。もっと利用者に配慮した運営はできませんか。

萬里図書館長

日曜開館の完全実施が望まれている状況です。実現に向けて努力します。

福祉対策課長

各課と連携を図り、利用しやすいよう検討します。



65歳からの元気アップいきいきセミナー

健康増進課長

訪問指導を拒否される方への対応は。大変苦慮しています。粘り

問

健診結果を2年分と比較検討しています。若干の効果が見られます。

健康増進課長

指導後の検証や追跡調査を行っていますか。

問

保健師、看護師、管理栄養士の9名で、個別訪問を行い、生活改善目標を立て指導しています。対象となる方は40歳以上の「メタボ健診」により選択しています。

問

国保の疾病予防の活動状況は。

健康増進課長



藤井 博幸 議員
(日出地区)

問 「ひじん本」校閲は
しましたか

答 今後、チェックを
念に行います

問

緊急雇用対策事業として、定住促進雑誌が発刊されました。内容は立派にまとめていますが、情報誌であれば、記載内容を十分精査しなければ、誤った情報でも、活字になったということでは信じられないのではないか。

政策推進課長

住みたい人をふやすため、職員自ら取材、編集しました。町のよいところ、よい人を紹介する雑誌です。創刊号として、町歩きスポットや豊かな自然がはぐくむ湧水の魅力、暮らしぶりなどの様子を伝えていきます。記事には情報不足、読み仮名の間違いなどがありました。次号から指摘の部分を含め、自ら編集し、チェックなどを入念にしてい

ます。

ホームページの活用

問

ホームページの予算はどのくらいかけていますか。

政策推進課長

ソフト部分の委託料として29万円、ウイルス対策として15万円です。リニューアルには1千万円かかります。26年に更新を予定しており、どのような形にするか検討している段階です。

問

イベントカレンダーがさびしい。ほとんど情報がないが。

政策推進課長

各課に情報発信を指



木陰がほしい福祉センターグラウンド

導しましたが、指摘のとおり
の状況です。ホームページ担
当の職員を配置し情報発信に
努めます。

グラウンド・公園に木陰を

問

福祉センターグラウンドや公園に緑陰をつくるための植栽はできないか。

福祉対策課長

福祉センターグラウンドに日陰は少なく、応急的にテントを設置しています。グラウ

ンドの余剰スペースを考え
たとき、樹木の植栽は難し
く、構造物の設置も含め検討
していきます。

問

遊具の近くに木陰があれば、子どもの遊ぶ姿を見守れるとおもいます。景観などを考慮し樹木を植えられないか。

都市建設課長

公園は憩いの場として利用されることが多く、植栽や遊具の整備、環境を保つようにしながら、利用者の要望を取り入れ、日陰のできる植栽を整備して管理をしていきます。本年度も、糸が浜、黒岩、辻間児童公園に複合遊具を設置する予定があり、良好な環境を保てるよう整備していきます。

質問を終えて

活字になれば、誤った記事も本物になる



池田 淳子 議員
(藤原地区)

問 防災訓練をするのか、しないのか

答 現在準備をすすめています

問

あらゆる災害を想定した避難訓練を実施すべきと、昨年の9月議会でも質問しました。しかし前向きな答弁はあったものの実施に至っていません。実施するのか、しないのか、いつどのようにやるのか、具体的に示してください。

総務課長

津波被害の恐れのある沿岸部を中心に避難訓練の準備を現在進めています。それぞれの区ごとに津波避難訓練行動計画を策定し、それに基づいた避難訓練を実施したいと考えています。どのような訓練が効果的であるか、地元と協議しながら積極的な訓練の実施に取りかかっています。

問

防災士は何人養成できましたか。

総務課長

これまで53人養成しています。77区のうち防災士がいる区が35区、いない区が42区となっていますので、本年度は全地区に防災士の配置を目指して予算措置をしています。

問

防災訓練をリードできるように防災士を活用してはいかがですか。

総務課長

スキルアップや知識向上など今後の活躍をお願いしたいという観点から、本年度、「日出町防災士会」(仮称)を立ち上げたいと考えています。町職員も資格を取得したいと思っています。

ピロリ菌の検査と除菌に助成を

問

町の健康診断でピロリ菌の検査は行っていますか。

健康増進課長

現在は行っていません。

問

今後行うとした場合、ピロリ菌の検査と除菌に対して公費助成はできませんか。

健康増進課長

国・県の動向や助成の方向がわからないので、他町村の状況やその結果を見ながら検討していきます。

各教室に扇風機の設置を

問

暑さ対策として扇風機を設置しては。

教育総務課長

本年度、日出中の新館の各教室と大神中のすべての普通教室に壁掛けを2台ずつ



少しは涼しくなりました

つ設置しましたが、まだ一部の学校で設置していない学年があります。必要な個所については随所設置したいと思えます。

質問を終えて
もっと防災士を養成すべき



工藤 健次 議員
(大神地区)

問 回天基地跡の保存は

答 公園として整備をします

問 戦後67年が経過して風化が進み、痛みが激しくなっていますが、保存についての考えは。

町長 日本に数少ない遺跡であり、重要な地域であると思います。今のままでは崩落の危険もあり、いろいろな考えを整理しながら着実に、回天基地公園や記念公園として整備をします。

商工観光課長 回天の実物大のレプリカを製作しようということで寄付金を募り、補助金の活用も含めて現在、調査検討を行っており関係者と協議中です。大神回天基地顕彰会や地元、観光協会、教育委員会等と連携を取り、進



保存が急がれる回天基地

問 めまず。

町長 学校の平和教育にどのように生かしていますか。

教育長 本年度は、川崎小学校のPTA研修部が日出町の戦

問 他市との連携は。

商工観光課長 山口県には、回天基地跡が3カ所あり、慰霊祭などで交流を行っています。宇佐市にも遺跡があり、戦争遺跡ツアーなども考えられますので今後検討します。

世界農業遺産認定をどのように生かすか

問 交流人口の増加が見込まれますが、地域振興や観光面には。

農林水産課長 現在、日本における認定は5地域で、国東半島宇佐地域の範囲は、日出町他、5市町村です。

大分県も世界農業遺産のブランド化に力を入れており、町としては今あるものをブランド化によって次世代につなげていく取り組みをします。

過去の一般質問の検証

問 日出駅周辺の総合的な交通対策のその後は。

都市建設課長 日出駅、豊後通運、蓮華寺前の各交差点の改良は、関係機関に今後も継続して強く要望します。

町道寺町線は、通学路で危険な状態であり電柱の移設ができないかなどを含めて検討します。

日出駅前の町営駐車場については、暘谷駅周辺の工事が始まると日出駅の利用者増加が予想され、関係各課と調整しながら駐車場の確保に努力します。

質問を終えて
関係市町村との連携強化を。



森 昭人 議員
(日出地区)

問 暘谷駅と駅周辺整備は情報提供不足

答 JRと協議中につき確定次第、順次報告

問 暘谷駅の改修と駅周辺整備は、完成に向けて、現在JRと最終協議を行っています

が、計画や進捗状況など、まったくの広報不足と考えては。

都市建設課長

駅舎の移動に伴う駅前広場や自由通路の整備またホームの拡幅やかさ上げなどは、23年度よりJR九州本社と設計協議を行い、25年4月に覚書を交わしています。南北の駅前広場の実施設計は、9月中旬に発注予定であり、今年度完成予定です。自由通路やホーム拡幅の実設計も、年内にはJRと委託協定を締結したいと考え、26年度の早い時期に完成するように現在協議を交わしています。

問 建設費・工事費は？

都市建設課長

設計費は、南北駅前広場と駐車場、駐輪場が1600万円、南北自由通路が5千万円、コミュニケーション施設と駅舎が500万円、ホーム拡幅および駅舎移動に伴う電機・通信設備関係が1200万円です。建設費は、実施設計をしないとわからない部分がありますが、概算工事費で、南北駅前広場および駐車場、駐輪場などが2億円、自由通路が3億5千万円になります。事業費の40%は国の補助を見込んでいます。ホーム拡幅などJR施設内の整備費用は、今後の実施設計やJRとの協議で明確になり次第、報告できると思います。



28年完成にむけ協議中の暘谷駅

日出町の将来にわたって、中心的な商業施設としての役割を果たせるのではないかと考えています。委員会と協議し、方向性をはっきりすれば、公表します。

実弾射撃訓練の影響

問

自衛隊の存在や訓練の重要性は認識していますが、日出町が日出生台演習の影響指定地域の対象外となっていることに疑問があります。影響がある地区や家屋を調査し、防音工事の補助ができるよう早急に対処すべき。

町長

どの地域でどういう影響があるのか、状況をしっかりと把握して、内部的にも調査をしたいと思っています。

総務課長

調査・検証をして、自衛隊にお願いをしていきたいと考えています。

問

高校跡地グラウンド部分も、今後どのように活用するのか、まったく情報が提供されていません。

町長

現在、1事業者から賃借の申し込みと事業計画書などの提示を受けています。当初から複合商業施設の立地と云ってききましたが、この提案は、

町民の声

八日市区
藤井 教真



悲しみに学ぶ

年々、月日の流れる速さが増すように感じます。あっという間に年末のことを考える時期です。今年は記録的な猛暑が続いたかと思うと、豪雨、突風、台風と大変な惨事に日本全土が見舞われました。幸い、この日出町は大きな被害もなく、安堵しています。

先日、東日本大震災以降、いまでも現地に思いボランティア活動を行っている友人から話を聞きました。以前は意識をしなくてもメディアから震災関連の情報が流れてきていましたが、最近では各々がインターネットなどで調べなければ正確な現地の情報、現状を知ることができません。「復興に向けた明るいニュースも多い中ですが、現地の方々はまだまだ心、身体や日々の生活などに悩み苦しんでいます。その現状を分かってももらえないのが一番つらい。」と友人は語ってくれました。被害にあった方たちはとにかく存在を

忘れられることが寂しいそうです。

私は昨年の北部九州豪雨の際、竹田市にてボランティア活動をしました。つらい中であって私たちを笑顔で迎えてくれた方たちの優しさは忘れられることができません。現地に行かなければ感じることができないことはたくさんあります。けれども現地に行かなくても私たちにはできることがあります。「できる人が、できる時に、できること」を何か行動をする。物事の大小は関係ありません。まずは思うままに行動を試みませんか。

同じ時期の経過であっても、人それぞれ思いがあります。急速に変化を遂げる暮らしの中にあつて、私だけではではなく、私以外にも…という思いで、今以上に「人と人とのつながり」を大事にして、まずは今年の残りを大切に過ごしていきたいと思えます。

12月定例議会の予定

- 28日 議会運営委員会
- 5日 本会議（初日）
- 9日 本会議（議案質疑・一般質問）
- 10日 本会議（一般質問）
- 11日～12日 常任委員会（予算）
- 13日 常任委員会（所管）
- 16日 常任委員会（所管）
- 17日 常任委員会（予算）
- 全員協議会
- 特別委員会（議会報）
- 特別委員会（議会改革）
- 20日 本会議（最終日）

議会を

傍聴してみませんか

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があつて、どう進んでいるのだろうか。

あなたの身近なこともありません。

簡単な手続で、だれでも傍聴ができますので、是非おいでください。

編集後記



平成14年から議会だよりの編集に携わり、早12年。数えて47号、半分以上の編集を担当したことになります。「読んでもらえる・分かりやすい」を目指し、少しずつ改良を加えてきましたが、大胆な紙面構成の転換ができないのは、委員長の責任ではと、自分の力不足を反省しています。議会だよりは議員の手作り。時間の制約もあり、なかなか思うように事を運ぶことができないのも事実ですが、編集委員長1人のカラーが出すぎるのも大きな問題であるとも考えています。今任期も残りわずか。次号の発行で編集委員の任も終えようとしています。

（森 昭人）

編集委員長	森 昭人
副委員長	池田 淳子
委員	熊谷 健作
委員	工藤 健次
委員	藤井 博幸
委員	土田 亮治